



## 平成 26 年度 実地研修(施設見学)を実施しました!

平成27年3月3日(火)に、平成26年度実地研修として施設見学会を実施しました。今年度は、大阪市内のごみが、どのように処理されているかを見ていただくため、環境局舞洲工場と北港処分地を見学しました。正午過ぎに阿倍野区役所前に26名の推進員の皆さんが集合されました。



まず最初に、舞洲工場へ。

会議室で工場の紹介ビデオを見てから、見学コースに向かいました。見学コースはお子さんも楽しく学べるように、壁を洞窟のように飾ったり天井を星空にしたりと、工夫されていました。

パッカー車等によって集められたごみは、ごみピットに投入され、クレーンで焼却炉に入れます。焼却することによって、焼却灰は燃やす前の約15分の1のかさに減り、これを埋立に利用します。

見学コースでは、クレーンでごみを焼却炉に投入する場所や、焼却灰を車両に積み込む設備、中央制御室の様子等を見ることができました。

続いて、北港処分地へ向かいます。



焼却工場から出た焼却灰は、海上または陸上輸送で北港処分地に搬入され、埋立に利用されます。北港処分地は、大阪市独自の貴重な処分場であり、市民や事業者、行政の協力によってごみ減量を進めることで、利用する期間を延ばすことができます。

北港処分地は、風を遮るものがありません。寒い中でも、参加された推進員の皆さんは、熱心に見学され、案内役の職員にいろいろな質問をされていました。



その他、下車した場所には展望台が設置され、メガソーラーを見ることができました。これは、「大阪ひかりの森」プロジェクトといい、大阪市が複数の民間事業者と協働して、事業者が設置コストを分担する一方で、発電した電気を電力会社に売却し、その収益をコスト分担割合に応じて受け取るという、新しい事業モデルです。

参加者の皆さんはごみの問題に限らず、環境に関する取組み全般に関心が高く、熱心に見学されていました。



北港処分地の見学終了で、この日の見学スケジュールも終了です。再び阿倍野区役所前へ戻り、解散となりました。

見学会にご参加いただきました皆さん、お忙しい中、また北港処分地は風も強く、寒い1日でしたが、ご参加いただきありがとうございました。

### ～市民の皆さんのご協力により、ごみ減量が大きく進んでいます！～

平成25年度のごみ処理量は102万トンとなり、前年度と比較すると10万トンの減量、ごみ処理量がピークとなった平成3年度の217万トンと比較すると、約53%の減量となりました。

市民の皆さんに分別排出にご理解ご協力をいただき、平成26年度のごみ処理量は、前年度からさらに8万トンの減量となる94万トン程度となる見込みです。

《編集・発行》

大阪市南部環境事業センター

大阪市西成区南津守5-5-26

TEL:06-6661-5450 FAX:06-6653-7849

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

